

令和5年第12回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和5年12月21日（木曜日） 午後1時42分から2時55分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・馬場優子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告

議題及び決定事項等

議案なし

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 日高かわせみの里ツデーウオークについて、昨年より参加者が増加したことはよいことである。長距離のコースでは土曜日の方が参加人数が多いようであるが、翌日が休日というのが影響しているのかもしれない。

(生涯学習課長) 事前の申し込みは両日とも参加ができるものとなっているため、当日の天候等を見て参加する日を決めたことも考えられる。日曜日は気温が低く寒い一日であった。

(委員) 校長、教頭試験について、日高市の合格率が高いと聞いた。

(教育長) 受験者も他市と比較すると多い方である。

(委員) 令和6年度日高市当初人事について、欠員状況を解消していかなければなら

ない。

(委員) 働き方改革について、上司の命令による研修は仕事となるが、自己研鑽はそうではない。働き方改革ありきになってはいけない。残業しないで帰宅を促すだけでなく、教育委員会として基準を設けて各校長に指示したほうがよい。

(教育長) 教員による個人差はあるが、仕事の偏り等の更なる分析をしていかなければならない。以前に比べると教職員全体の意識は変わってきている。

(委員) 渉外も担当するような教頭に負荷がかかることも多いと思う。流動的な対応が必要であると思う。見えない所で身心に不調をきたしてしまう教職員も増えていくかもしれない。小中一貫教育と働き方改革をリンクさせて考えていくことも必要である。

(教育長) 義務教育学校の一つのメリットとして、教頭が2人いることと、校長が1人のため定数に1人余裕が生まれることである。

(委員) 地域学校協働本部について、スタートする前はイメージがわかかなかったが、ここで始動しだした。公民館の活動に携わっている人のほうが、地域に裾野が広い。公民館長の役割は益々重要となる。

(教育長) 日高市の特性である6地区、6小中学校（1地区は義務教育学校）、6公民館がうまく機能している。

(委員) 部活動の地域移行について、女子サッカーチームのちふれ AS エルフェン埼玉の話があったがどういった状況か。

(学校教育課副参事) 実証実験として、県から補助を受け、土日の部活動指導に協力をいただいている。

(委員) 日高市に総合型地域スポーツクラブが2つほどあると聞いた。

(生涯学習課長) 県に登録をしている団体はあるようだが、総合型地域スポーツクラブの活動として市に話は来ていない。今後スポーツ少年団が担えるか検討をしているところである。

(教育長) 以前、市の体育協会でも検討はしたが日高の規模では難しいという判断となった。

(委員) 不登校の対応には、時間がかかることが多い。きめ細かな対応をするには人手が少ないと感じる。

(教育長) 不登校の対策として今年度、高萩中学校内に校内教育支援センターを設置した。

(委員) 日高市には様々な業種の企業がある。そういった企業の協力を得て、子どもたちに見せることも大切である。子どもたちの将来の夢も多様化している時代なので、視野が広がると思う。風土、郷土、歴史も大切であるが、今の日高を知ることも大切である。

(教育長) 見聞を広げ、自分の可能性を見いだすことによって、何のために学ぶのかを気づくことができる。そうすれば、自ずと意欲的に学習に取り組むと思っている。

(委員) 高麗中学校の立志式について、大勢の人を前に壇上で話すという経験が大切である。子どもたちの自信にもつながる。

(委員) 高麗川小学校では二分の一成人式を行っていた。10歳の子どもたちが将来の夢について発表するものであるが、コロナ禍で中止となっているので、また再開

できればよいと思う。

(委員) 子どもの絵を見ればその子の家庭環境が見えてくる。子どもの心が絵に現れる。教員がどこまで捉えているか。以前学校訪問をし、子どもたちの絵を見たときに、何かしらの問題を抱えている子どもの絵は見て分かった。そういったことも見逃さない方がよい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案なし

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 1月定例会：1月31日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

○ 2月定例会：2月29日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するために下記に署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

教育長職務代理

委 員

委 員

委 員

書 記
